



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。

ここでは 駒澤大学 の紹介と地域と協力した取り組みをご紹介します！

駒澤大学は「**仏教の教えと「禅」の精神**」を建学の理念、つまり教育・研究の基本とする大学です。仏教は、物事の本質の洞察に基づいて、あらゆるものを大切に扱う心を教えてくれます。

仏教では、この洞察を「智慧」、この心を「慈悲」と言います。駒澤大学は、さまざまな学問を深く広く探求することとおして、智慧を磨き慈悲の心を育みながら自己を陶冶し成長していく場です。

この智慧と慈悲による自己形成を目指す仏教のいとなみを、禅では「修」（修行）といい、その理想の姿を「証」（悟り）といいます。曹洞宗の開祖・道元禅師は、理想の「証」は彼方にあるのではなく、私たちの日々のいとなみである「修」の中にごそ活きている、と説かれ、それを「修証一等」（修行と悟りは一体である）という言葉で示されました。

この禅師の教えを大学の教育・研究の理想的なあり方として簡潔に表現したのが「行学一如」です。それは、大学では自己形成を目指す「行」と、学問研究である「学」とは一体であるという意味であり、それが建学の理念を表わす言葉として用いられてきたのです。

駒澤大学における「行」とは、仏教の高い倫理観のもと、学問研究を自らの血とし肉とする作業であり、それがそのまま本当の「学」ということなのです。こうして形成されていく自己は、卒業後も実社会のなかでより広い慈悲の心とより高い智慧を求め、常に新たな学びをつづけてゆかずです。この絶えざる自己形成こそが、駒澤大学が掲げる理想の学びなのです。



社会連携・地域貢献の取り組み

駒澤大学では、大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな価値を生み出す活動を展開し、研究成果の社会への還元と、地域社会における教育活動及び教育環境の向上に取り組んでいます。

法学部の内海 麻利ゼミが進化系防災訓練「防災コミュニティラボ」を開催

令和5年12月10日(日)に、駒沢キャンパス3号館種月ホールで開催したこのイベントは、世田谷区と協力して、地域コミュニティの希薄化や防災訓練への参加率を改善するために企画されました。

「防災競技（応急処置競技、障害物競技、災害サイクルリレー）」や「非常食試食会」、「防災グッズの共同製作」、「防災知識クイズ」などが実施され、参加者に災害時に必要な知識や行動を身につける機会となりました。



「第4回せたがや居場所サミット」を開催

令和5年5月27日(土)に、駒沢キャンパス3号館種月ホールにて開催されたこのイベントでは、世田谷区で、子ども・若者・高齢者・障害者等、様々な世代の個別課題に対応した『居場所』作りをしている49団体が一堂に会し、実践者らによるパネル展示や事業説明を行いました。

本学から経済学部の松本 典子教授、文学部社会学科の李 妍焱教授が参加し、「居場所」作りを実践している方々や保坂 展人世田谷区長と共に活発な意見交換を行い交流を深めました。



経営学部の小野瀬 拓ゼミがACP(Advance Care Planning/人生会議)の普及啓発ポスターを作成

経営学部の小野瀬 拓ゼミが、世田谷区による「ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」の普及啓発のためのポスター作成に協力しました。

ポスターの作成にあたっては、インフォグラフィックを用いた表現方法を応用し、ポスター制作活動に取り組みました。

作成したポスターは、令和5年9月16日(土)玉川区民会館「玉川せせらぎホール」で開催した「世田谷区在宅療養講演会・シンポジウム」会場にて展示され、来場した区民の方等による投票が行われ、上位の3作品が選ばれました。



駒大生社会連携プロジェクト「世田谷デジタルものづくりフェス2023」を開催

令和5年11月4日(土)・5日(日)に「駒大生社会連携プロジェクト」の成果発表として開催されたこのイベントは、令和5年の前期期間、経済学部現代応用経済学科 長山 宗広 教授の科目である「アントレプレナーシップ養成講座」において実施したPBL（プロジェクトベースラーニング）の中で生まれたアイデアを元に企画・実施されるものです。



社会連携・地域貢献の取組み

STEAM 教育講座：「日本語のおもしろさを知ろう～将来の夢は…作家？翻訳家？」

令和5年9月2日(土)に、世田谷区立教育総合センターにおいて、同センターが実施している「STESM教育講座」として、世田谷区内の小学4年生から6年生を対象としたワークショップを本学の総合教育研究部内藤寿子教授が講師となって、開催しました。

当日は、21名の小学生が参加し、英語で書かれた絵本を教材とし、それを日本語に翻訳して発表を行なう、ワークショップの形式で実施されました。

本取り組みは、本学が参画している「世田谷プラットフォーム」が、地域活性化を目的に世田谷区及び産業界と共同で企画の上実施する事業です。



陸上競技部が駒沢小学校で走り方教室を開催

令和5年11月7日(火)に、陸上競技部が世田谷区立駒沢小学校にて開催したこの取り組みは、陸上競技部関係者が児童の皆さまにランニングや陸上競技の楽しさを提供することを目的に行われました。

児童の皆さまは、専門的な指導を通じて、身体を動かすことの楽しさや、身体と向き合うことの大切さを身につけた様子でした。



「夏休み子どもアカデミー2023」を開催

令和5年8月2日(水)・3日(木)に、駒沢キャンパス種月館(3号館)にて開催されたこのプログラムは夏休みを迎えた小学生向けに地域貢献の一環として無料で開講するもので、今年は3つの親子体験教室および子どもセミナーを実施しました。

医療健康科学部の近藤 啓介 准教授と村田 渉 助教による「防護の勇者となれ!『放射線お化けから身を守ろう!』ゲーム体験講座」、グローバル・メディア・スタディーズ学部の杉森 建太郎 講師による「世界の英語:色んな英語を聞いて、まねしてみよう」、文学部歴史学科の寺前 直人 教授による「土偶ってなんだろう?—縄文時代の人々の祈り—」を開講し、多くのご参加をいただきました。



総合教育研究部の深井正樹講師とサッカー部が世田谷区立喜多見中学校サッカー部の指導を行いました

令和5年8月30日(水)に、玉川キャンパスグラウンドにて、世田谷区立喜多見中学校サッカー部の指導を、本学サッカー部と共に行いました。

この取り組みは世田谷区教育委員会からの依頼を受け実現しました。本学サッカー部からは7人の学生が参加し、喜多見中学校の生徒の皆さまに実践的な練習や特別ルールでの試合を体験していただきました。



留学生が世田谷区の交流事業の一環として区立小学校を訪問しました

令和6年2月16日(金)に、本学の留学生4人が世田谷区の交流事業である「大学連携提案と区立幼稚園、小・中学校とのマッチング事業」の一環で世田谷区立若林小学校を訪問し、母国の食べ物、民族衣装、特徴的な建造物など、母国の文化を伝えました。

また、子どもたちに母国での遊びを教えてほしい、という希望に応じてベトナムの「ビー玉をうち」(地面で円を描いてビー玉を当てて取り合う)、韓国の「剪纸」(切り紙)・「丢沙包」(布製の砂袋を使用したドッチボールのような遊び)を紹介しました。母国の遊びを行った後に、給食を共にいただきました。

訪問終了後に、「子どもたちは留学生との交流をととても楽しみ、最後は別れを惜しんでいた。」との報告を受けました。



駒澤大学 カラダスマイルプログラム

令和5年7月、夏休み前の学生に「健康・体・食事・栄養」について考える機会を持ってもらい、卒業後も健やかな生活を送ってもらうことを目的として、健康に関する企画を「駒澤大学カラダスマイルプログラム」として実施しました。

コロナ禍・物価上昇など、学生の生活や健康に大きな影響を及ぼす変化が続いていることに対して、駒澤大学では2021年から食料品・生理用品の配布による直接的支援を続けてきましたが、それをさらに発展する取り組みです。

実施したプログラムのうち「食支援プロジェクト5」では、食料品7万点超を3,438人の学生に無料配布しました。同時に実施した健康について考えるプログラムは、世田谷区と大塚製薬株式会社にご協力いただきました。世田谷区の管理栄養士による栄養相談ブースは、希望者の行列が絶えないほどの人気で、学生ひとりひとりに一日に必要な野菜摂取量や野菜摂取方法など具体的なアドバイスをしていただきました。3日間で984人の学生が参加し、学生自身が健康を考える機会にも繋がりました。



社会連携・地域貢献の取組み

禅文化歴史博物館が「福招きキラキラ禅寺ウォーキング」を開催

令和5年11月7日（火）、第15回ふれあい禅寺めぐり「福招きキラキラ禅寺ウォーキング」を実施しました。

今回のイベントは、約70年ぶりの博物館法改正により、「他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など地域の活力の向上への寄与」が求められたことも踏まえて実施したものです。

本学に所縁のある曹洞宗寺院を中心に、世田谷城を築いた吉良氏、江戸時代に世田谷を領有した井伊家や代官大場家に所縁のある寺社・史跡を巡って世田谷地域の歴史を学びました。

また、大学の駒沢移転110周年の節目に、移転に深い係わりがあった旧玉川電気鉄道（玉電）の車両見学も通して、本学の歴史への知見を深めました。



2024(令和6)年度 前期 公開講座 開講

2024年4月から7月までの各月に公開講座として禅・宗教の講座や文学・歴史・自然科学・ビジネス・キャリア講座を開講します。

月1回の講演形式の対面講座のほか、オンデマンド配信講座も開講しますので、ご自宅からの受講が可能です。詳細は駒澤大学ホームページをご確認ください。

(下記二次元コードから申込ができます)



禅文化歴史博物館

禅文化歴史博物館は、本学の特色を活かした「禅・仏教の文化と歴史」を領域とする博物館です。

1階常設展示室では、禅僧の墨蹟や絵画、美術工芸品などの仏教美術を展示し、2階大学史展示室、企画展示室では、様々な展示を開催しています。写経や坐禅、禅寺の楽器を鳴らせる体験コーナーも設けています。

ナイトミュージアムなど子ども向けイベントも開催しています。



当館の建物は **東京都選定歴史的建造物「耕雲館」** を保存・活用しています。特徴的な外観と天井スタンドグラスに象徴される大正時代設計の図書館建築をご堪能いただけます。

WEBを活用した展示や動画コンテンツの公開を行っておりますので是非ご覧ください。



禅文化歴史博物館HP



禅博デジタルコンテンツ



駒沢キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

東急田園都市線「駒沢大学」駅

「駒沢公園口」出口から徒歩約10分

駒澤大学HP <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

仏教学部
文学部

禅学科、仏教学科

国文学科、英米文学科、地理学科（地域文化研究・地域環境研究）

歴史学科（日本史学・外国史学・考古学）

社会学科（社会学・社会福祉学）、心理学科

経済学部

経済学科、商学科、現代応用経済学科

法学部

法律学科（フレックスA・B）、政治学科

経営学部

経営学科、市場戦略学科

医療健康科学部

診療放射線技術科学科

グローバル・メディア・

スタディーズ学部

大学院

グローバル・メディア学科

仏教学研究科、人文科学研究科、経済学研究科、商学研究科、法学研究科

経営学研究科、医療健康科学研究科、グローバル・メディア研究科

法曹養成研究科（法科大学院）